

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム  
2022年度第4回事業審査委員会 議事録

- 1 日時：2022年7月22日(金) 16:59~19:28
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室（Web会議）
- 3 出席者の確認

事業審査委員総数5名のうち、事業審査委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

事業審査委員

学識経験者：永井 秀哉（共同代表理事）

外務省：民間援助連携室 松田俊夫

学識経験者：堀場 明子 欠席：高橋事務局長に委任

学識経験者：清水 研

事務局長：高橋 丈晴

オブザーバー

外務省：栗原 真穂（民間援助連携室 事務官）

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第3回事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認

- (2) 第二号議案：イラク・シリア人道危機対応支援プログラムにかかる事業計画書の承認：4事案  
〈CCP〉レバノンのパレスチナ難民キャンプにおける医療・保健、心理社会的支援

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 自殺率に関する情報源や達成状況の評価、歯科治療を行う必要性、なぜこの事業を行わなければいけないのかという状況分析等、分科会にて審議された内容について申請書内でも十分な説明を行う。
2. 指標について再度見直しを行う。現在は行動することが指標になっているため、数値として目標を示す。

〈PARCIC〉レバノンにおける脆弱なシリア難民・レバノン人児童への教育支援（6期）

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 分科会での審議内容を踏まえて、出口戦略についてできる限り明確に記載する。
2. この学校を支援し続ける状況と根拠についてより詳細に申請書に記載する。

〈SCJ〉シリア国内

結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

〈AAR〉 シリア国内

結果：再提出

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での条件：

1. 抱える障がいの性質が多様であるにもかかわらず、目指すアウトカムが漠然とし過ぎているため、再考すべきである。
2. 現状の課題について、差別なのか、思い込みなのか、偏見なのか、分析が不十分であるため、更に詳細な課題分析が求められる。詳細な課題分析に基づいて、啓発内容および目指すアウトカムを検討すべきである。
3. PSS に対する理解が十分でなく、事業における位置づけが曖昧である。個別訪問で行う PSS とピアサポートセッションの違い（具体的な実施方法、関わる専門家およびスタッフ、裨益者の関わり方、目指す状態等）が判然としない。ピアサポート、ピアカウンセリングについても、想定されるリスクについて、どのような専門性のあるスタッフがどのようにモニタリングし、リスクを軽減するのかが検討されていないため、Do harm になる可能性を排除できない。AAR の事業担当が、専門家等を介して PSS についてもう一度学び直し、事業における位置づけを再考・再整理する必要がある。

- (3) 第三号議案：ミャンマー避難民人道支援プログラムにかかる事業計画書の承認： 2事案  
〈SCJ〉 バングラデシュ・コックスバザール県のミャンマー避難民キャンプ及びホストコミュニティにおける地域住民を主体とした生活環境改善促進事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. ログフレームにおいて、アウトプット、アウトカムの指標について見直し、条件解除の際は、杉田委員に確認いただくこと。
2. 事業審査分科会での質疑応答の内容を追記し、また複数年プログラムであることから、それを見据えた出口戦略についても整理すること

〈PLAN〉 コックスバザール県内の避難民の若者向け識字教育支援

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 事業審査分科会での質疑応答を踏まえ、その内容（例：学習効果、課外活動の波及効果、使用言語等）を申請書にて再度説明すること。
2. 複数年プログラムであることから、出口戦略・その方向性について加筆すること。

- (4) 第四号議案：アフガニスタン人道危機対応支援プログラムにかかる事業計画書の承認：2事案  
〈SCJ〉 アフガニスタン・ナンガルハル州における現金給付および栄養・子どもの保護に関する啓発活動を通じた世帯の対処能力向上支援  
結果：条件付き承認（外務省は棄権）

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. コンポーネント1冒頭の現金給付を行う旨の記載において、「・・・を購入するための現金給付を行う」といった形で用途を記載頂きたい。その際、別の箇所で記載されているように想定される物資を列挙頂きたい。
2. 母子の栄養ケア、及び子どもの保護に関する啓発活動の内容につき詳細を記載頂きたい。
3. 具体的には、母子の栄養ケアに関し、必要且つ質の高い栄養素を確保する食材の購入、調理方法、及び保管方法等について、どのように指導するかも併せて記載頂きたい。
4. 更に子どもの保護に関する啓発活動におけるサイコロジカルファーストエイドに関し詳細を記載頂きたい。
5. 「Do No Harm」の原則の適用に関し、活動レベルで詳細を記載頂きたい。

〈JEN〉 ナンガルハル県で干ばつの被害を受けた国内避難民・帰還民・脆弱なホストコミュニティへの食糧・物資配布  
結果：承認（外務省は棄権）

事業審査分科会での結果：承認

- (5) 第五号議案：パレスチナ・ガザ人道危機対応プログラムにかかる事業計画書の承認について：2事案  
〈CCP〉 ガザ地区の障がい者や家族、コミュニティのレジリエンスと支援の持続可能性を高める保健事業  
結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

〈PWJ〉 ガザ地区における幼稚園児への心理社会的支援  
結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

- (6) 第六号議案：エチオピア紛争被災者支援プログラムにかかる事業計画書の承認について：2事案  
〈GNJP〉 アムハラ州における教育・保健医療サービス、性暴力被害者支援を通じた復興事業  
結果：再提出

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での条件：

1. 特にコンポーネント3について、用語自体が適切ではない、カウンセリングの知識を持ち合わせている職員の雇用などを含め、性暴力被害者支援の活動そのものについて基本的な理解が不足していると思われる。また、起業研修についても、起業資金の金額の根拠、そもそも具体的な起業内容などが不明確であり、性暴力被害者支援に何故この活動を組み入れるのか関連性なども含め曖昧である。
2. グッドネーバース・ジャパン（以下GNJP）というよりは、グッドネーバース・エチオピア（以下GNE）が実施したい活動内容と見受けられ、GNJPとして本事業を実施する意義が曖昧である。

〈WVJ〉 アファール州における水衛生支援事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. ウイルス・細菌・原虫等の病原ごとの対応を精査するとともに、WVJとしてモニタリング実施体制を整備すること。  
※条件解除の際は、平山委員にご確認いただくこと。

- (7) 第七号審議事項：イエメン人道危機対応支援プログラムにかかる事業計画書の承認について：2事案

〈ADRA〉 イエメン共和国ラヘジュ県とアブヤン県における緊急農業復旧支援事業

結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

〈SCJ〉 イエメン・ラヒジュ県における国内避難民キャンプでのインフォーマル教育および子どもの保護対応能力強化支援事業

結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

- (8) 第八号審議事項：南スーダン難民緊急支援プログラムにかかる事業計画書の承認について：1事案

〈ADRA〉 エチオピア ガンベラ州のクレ難民キャンプにおける難民のトイレ建設能力と衛生習慣の改善事業

結果：再提出

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での条件：

1. 全般的に事業設計そのものに曖昧さがあるため、再考すること。事業対象地にニーズがあることは理解できるが、具体的に費用対効果、ログフレームの内容、過去のADRAの実績、学びを含め、一貫した説明ができるように案件内容を再構築すること。

(9) 第九号審議事項：東日本大震災被災者支援（福島支援）に係る事業計画書の承認について： 1 事案

〈JPF〉 福島における地元主体の支援活動体制構築

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 3年間の計画を俯瞰できる概略図（ボンチ絵）を作成し、その中で今回の事業の位置づけを明確にすること
2. 3年間の事業を通じたログフレームを追記の事
3. 支援先団体の資金調達について、成果を見極めるための指標などをログフレーム上に記載の事

(10) 第十号審議事項：西日本豪雨被災者支援2018に係る事業計画書の承認について： 1事案

〈PBV〉 防災・減災教育を通じた地域のコミュニティ形成事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 6か月間の重機リースで事業の効果を見極めた後に、複数台の重機等を購入の事
2. 重機研修実施にあたっての安全管理、重機運用のルールを定め、事業計画書に記載の事
3. 重機の譲渡後の運用について事業計画書に記載の事

(11) 第十一号審議事項：令和元年台風被災者支援に係る事業計画書の承認について： 2事案

〈SEEDs〉 Withコロナ時代の復興まちづくり協力事業 Phase-II

結果：再提出

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での条件：

1. 事業計画の下記の点について見直し・再検討が必要
  - ・ログフレーム記載の成果指標
  - ・事業目的とヒト・モノ・カネとの関係性
  - ・本事業内での団体の役割、妥当な業務量根拠
2. 現地ステークホルダーとの関わり、コミュニケーションについて分科会で説明された内容を申請書にも記載いただきたい
3. コンポーネント2 の内容についてより具体的に記載いただきたい

〈JISP〉 宮城県黒川郡大郷町における被災コミュニティの交流および見守り支援

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. キッチンカーの所有権、運用方法について確認し、書面を供与先と取り交わすこと

2. キッチンカーの運用面などの主体性の点について事業計画書に記載の事
3. 本事業で得られたノウハウなどを成果物にして残すこと

5 報告事項

- (1) 国内災害対応方針の改訂案について
- (2) 食糧危機2022支援について

6 書面による報告

- (1) NGOユニットからの報告
- (2) 事業計画変更の報告
- (3) JPF事務局審議結果の報告
- (4) 固定資産処理の報告
- (5) 終了報告書審議結果の報告
- (6) コアチームの報告
- (7) 新型コロナウイルス感染症に対する対応指針4（4）に基づく報告

7 次回以降の事業審査委員会開催日時と会場について

2022年度第5回事業審査委員会：2022年8月25日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室  
2022年度第6回事業審査委員会：2022年9月22日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室